

DNS on IPv6 の現状

株式会社インターネットイニシアティブ

松崎 吉伸

maz@ij.ad.jp

IIJで運用しているDNS

- JPセカンダリ
- IIJドメイン用
- 顧客ドメイン用
- 顧客参照用

DNSサーバの構成

for IPv4

IntelアーキテクチャでPC-UNIX

BIND8系を利用

安定志向

for IPv6

同じくIntelアーキテクチャでPC-UNIX

BIND9系を利用

なるべく最新を追いかけている

IPv4/v6のDNS運用

- IPv4のサービスは死守しなければならない
- 既存サービスの品質を保ちつつ、IPv6の実証実験を行っていく必要がある

IPv4/v6のDNS運用 - 2

- IPv4とIPv6でそれぞれ個別にサーバを設置して運用している
- 外から見たホスト名は同一

```
$ dig any ns0.iij.ad.jp. @ns0.iij.ad.jp.
```

```
ns0.iij.ad.jp. 86400 IN AAAA 2001:240::53
```

```
ns0.iij.ad.jp. 86400 IN A      202.232.2.34
```

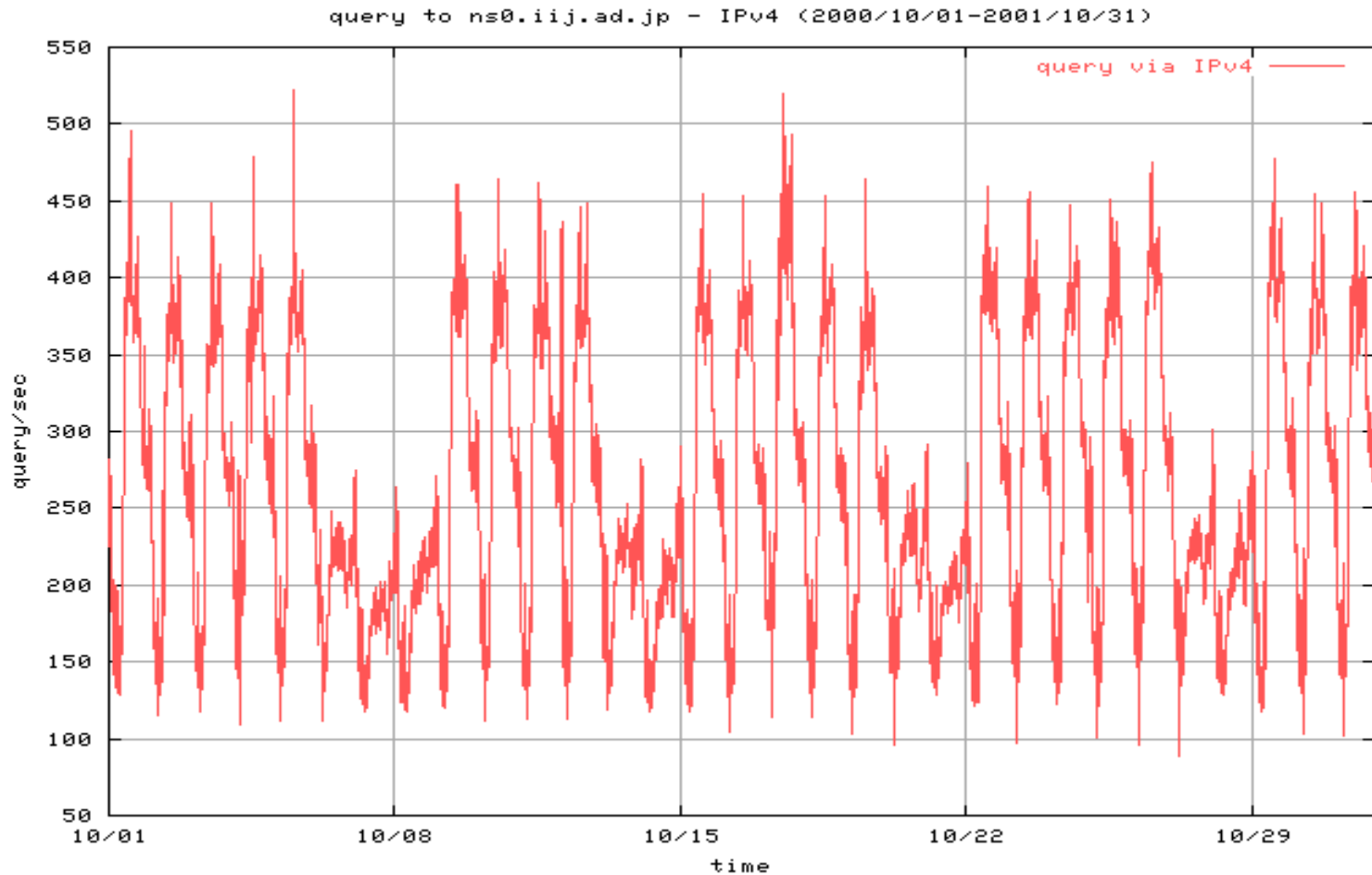
IPv6のDNS運用

- IPv6向けDNSは基本的にdual stackで、IPv4/v6両方のアドレスを設定している
- 障害時の機器交換を考えてIPv6のアドレスは手動設定

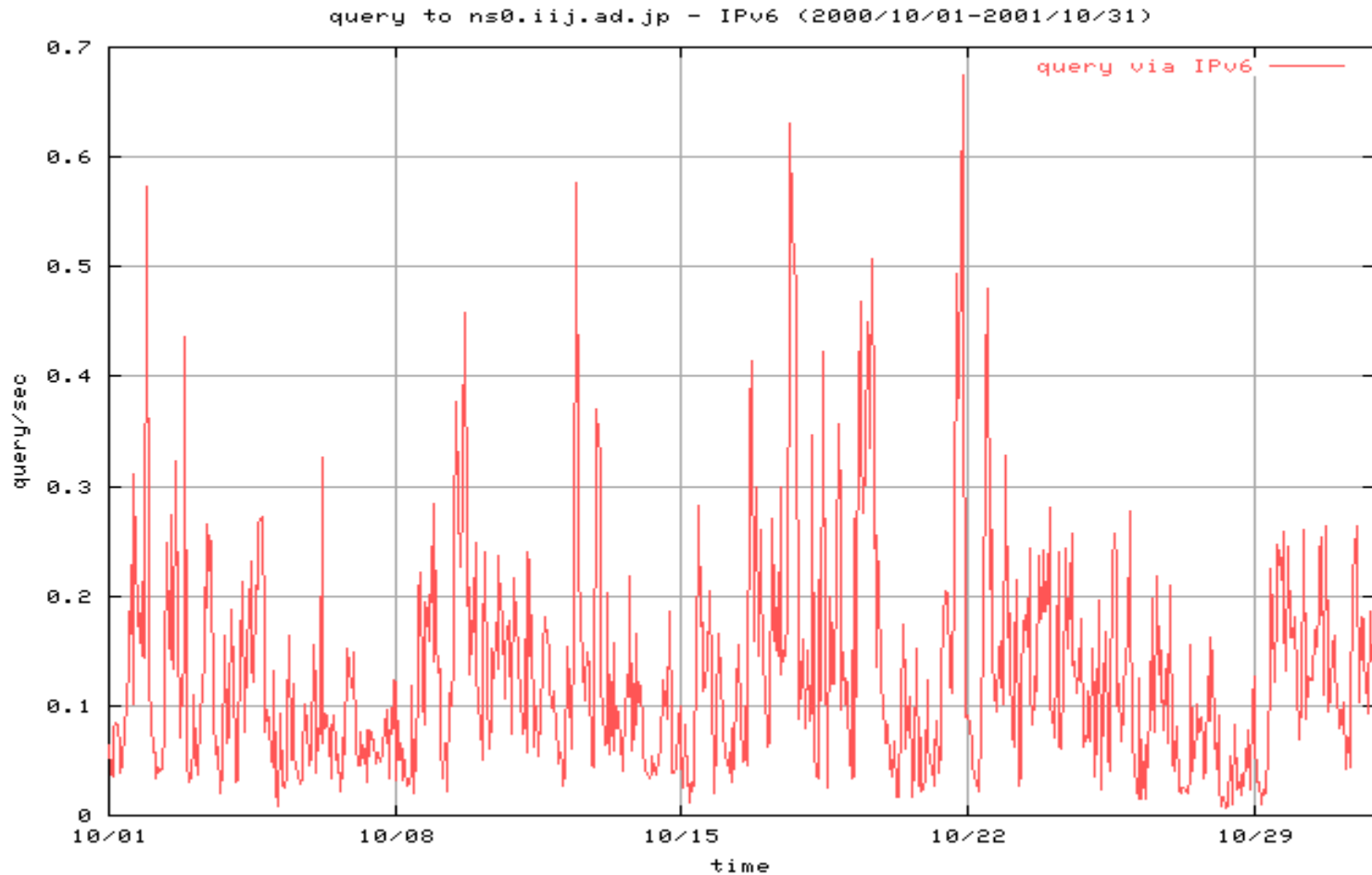
JPセカンダリ - queryの統計

- IPv6でのqueryはまだまだ少ない
 - JPセカンダリで
 - IPv4: 数千万query/day
 - IPv6: 数万query/day

JPセカンダリ(IPv4)



JPセカンダリ(IPv6)



おしまい